北海道拓北養護学校

コミュニティ スクール だより

第２号
令和７年１月15日
北海道拓北養護学校
学校運営協議会事務局

12 月４日(金) 第２回学校運営協議会を実施しました。

第２回は４名の委員の方に御参加いただいての実施となりました。また、本校からは校長、副校長、教頭、事務長の他に３名の教員が参加し、以下の内容を行いました。

主な内容

１　今年度の本校の取り組みについて　（副校長）
２　令和６年度学校評価について　（副校長）
３　グループワーク
　テーマ「これからの拓北養護学校に期待すること」
　※２つのグループに分かれ、テーマに沿ったディスカッションを行いました。

＜当日御参加いただいた委員の皆様＞

１【今年度の本校の取り組みについて】

今年度の本校の取り組みとして、主に避難訓練、遠隔社会見学、オンライン交流、学習発表会、拓養祭（中学部、高等部）、みんなの遊び場、スクールコンサートなどについて、副校長より写真を用いて説明を行いました。委員からは、「防災の取り組みについて、自分の施設でもやってみたいと思いました。」「災害時に向けて、日々の訓練で専門の方々と連携して取り組むことが大切と思いました。」などの御意見をいただきました。

２【令和６年度学校評価について】

保護者からいただいた学校評価と、教職員が行った学校評価の集計結果について説明いたしました。（添付資料参照）

教職員の評価結果は外部との連携に関する項目で低評価が多かったこと、保護者の評価については回収率が低かったことが課題であると御説明し、委員からは次のような御意見等をいただきました。

<学校評価に関する御意見等>　（→：質問に対する本校からの回答）

・コロナ以降少しずつ他機関との連携が図られてきていると感じた。
・他校でも学校評価の回収率が低いことが話題となっていた。保護者に複数回声掛けするなどの手立てを講じている学校もある。
・食に関する評価や、地域とのかかわりとの評価について、保護者と先生方の評価が一致しているのが良いと感じた。
・摂食や給食などについて、校内研修はされているか。
　→校内研修は行っているが、「まだ足りない」という意見もある。
・学校間交流について、コロナ以前について教えてほしい。
　→コロナ以前は近隣小中学校が数校来校され、交流を行っていた。相手先の児童生徒に障害者理解を深めもらうという機会としても貴重だと思うので、今後進めていきたい。

３【グループワーク：テーマ「これからの拓北養護学校に期待すること」】

会の後半、５～６名のグループに分かれ、テーマに沿ったディスカッションを行いました。様々なお立場から、活発な意見交換がなされました。

<グループワークで出された御意見>

〔拓北養護学校に期待すること〕

- 地域の学校との交流
- 防災訓練等の見学、連携（福祉事業所）
- 教育大学生ボランティアの受け入れ
- 地域の方々との交流（行事に参加していただく、など）
- スポーツ大会の実施（地域の方々、学生との交流）
- 国際交流
- 昔遊び
- 身体を動かすレク
- 給食やミキサー食の試食会（関係機関も含め）
- 一日アートの日

〔どのような人材を協力者にしたら良いか〕

- 近隣の特別支援学校（和太鼓、演劇など）
- 教育大のサークル活動（よさこい、音楽等）
- 福祉事業所
- 町内会の方々
- 卒業生
- 防災の専門家

次回（２月）に向けて

・今回の学校評価（保護者、教職員）を受けて、現在校内で次年度に向けた取り組みについて検討しております。その結果について、２月の学校運営協議会で報告させていただきます。併せて、次年度の計画等についても御説明させていただく予定です。

・お忙しい中御参加いただき、御意見等をくださいました運営委員の皆様、ありがとうございました。

＜連絡＞

委員からのアドバイスを受け、今回から「コミュニティスクールだより」を全保護者に配付することといたしました。学校運営協議会の活動内容を知っていただき、御意見、御感想等をいただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

（事務局）